

視覚

障がい者(全盲)

視覚障がいについて

視覚の障がいには、見えない『全盲』と、見えにくい『弱視』があります。

『全盲』とは、景色やものの形が見えない場合を言います。明るい暗いかの区別がつく人もいますが、その区別がつかない人もいます。

全盲の人の情報の入手方法は？

- 全盲の人は、主に『点字』または『音声』によって情報を入手します。



点字の文書

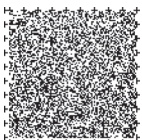


カセットテープなどの音声(日常生活用具)
(*注)

- 最近では、パソコン(音声読上げ機能)を活用する人も増えています。

情報を入手するのに、どんな問題がありますか？

- どのような情報があるかがわかりません。そのため、得られる情報が限られています。
- 点字版、音声対応の情報が常に用意されているわけではありません。
- 点字版及び声の広報は、入手が遅れるため、申込みの期間が短くなってしまふ場合があります。



こんな対応や機器があると便利だなあ！！

朗読サービス

- 会議などで資料を読む『朗読ボランティア』の活動もあります。
- 図書館では、『対面朗読サービス』を実施しています。



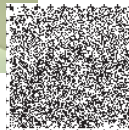
▶ 朗読サービスを受けている様子

活字文書読上げ装置（日常生活用具）

- 視覚障がい者向けに開発されたSPコードの専用読み取り装置です。SPコードに記録された情報を音声で聞くことができます。このハンドブックでもご利用になれます。



▶ SPコード



ポータブルレコーダー（日常生活用具）

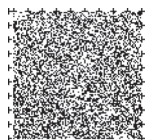
- 視覚障がい者向けのCD（デジタル録音図書）を専用レコーダーで聞けます。読みたい章やページからの頭出しが可能です。



全盲の視覚障がい者からの声

- 声の広報（広報の内容を音声で吹き込んだもの）を充実させてほしいです。
- 点訳された資料がもっと増えると助かります。
- CDや活字文書読上げ装置での情報提供を充実させてほしいです。
- 市からの郵便宛名に点字等が併記されていると助かります。
- 視覚障がい者に対する防災情報の伝達方法の検討を進めてほしいです。
- 情報をインターネットでも読める（聴ける）ようにしてほしいです。
- バスにもアイドリングストップが励行されているため、車内にこまめに行き先を音声でアナウンスしてほしいです。

*注【日常生活用具】在宅の心身障がいの方の日常生活を容易にするため、給付（貸与）します。



視覚

障がい者（弱視）

弱視について

見えにくさにもいろいろあります。見たいもののすぐそばまで目を近づけなければ見えない場合や、視野が狭かったり、薄暗いと見えなかったりします。また、はっきり見えているものとの対比がないと認識しにくい場合があります。



●ぼやけてしまう



●視野がせまい



●中心が見えない

さらに最近では、『白内障』という病気にかかる高齢者が多くなっています。この病気によって、見えにくい症状が現れることもあります。

弱視の人の情報の入手方法は？

- ルーペや拡大読書器を使って情報を入手しています。



▶ ルーペ

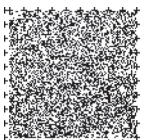
▶ 拡大読書器
(日常生活用具)



- もちろん、『点字』や『音声』を利用する人もいます。

情報を入手するのに、どんな問題がありますか？

- 文字が小さいと読めなくて困ります。
- 進行性の障がいのため、簡単な書類も読めなくなってきました。



こんな対応や機器があると便利だなぁ！！

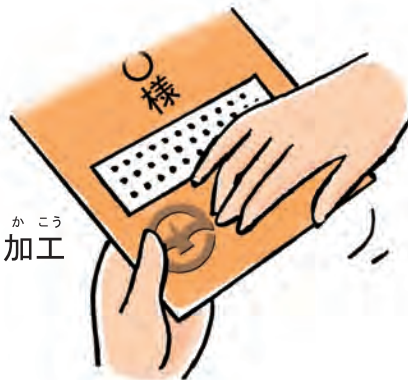
大活字の情報

- 大きな活字の文書や電光掲示板は、弱視の人や、高齢者にも読みやすいです。



郵便物（封筒）への工夫

- 封筒への点字表示や市のマークの浮き出し加工によって、どこから送られてきたものかをすぐに確認できます。



浮き出し加工

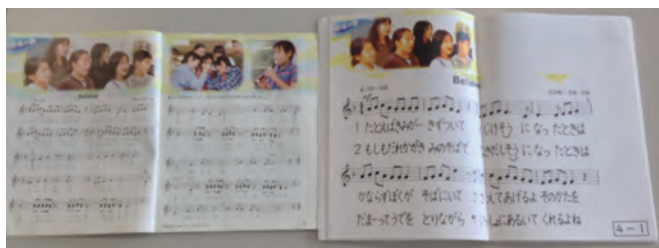
音声読上げ機能の付いたパソコン

- パソコンでは、文字データを音声で読上げることができます。文書を作成する際は、聞いてわかるような工夫が必要です。



拡大写本

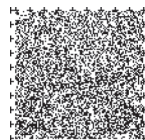
- 弱視の子ども向けには、文字を拡大し、図版などを見やすく配置した拡大教科書が教科書出版社により製作されています。そのほか、利用者の個別のニーズに対応したものや、高齢者向けの拡大図書が、ボランティアグループにより製作されています。



通常の教科書

拡大教科書

▲ ボランティアグループによる拡大教科書





弱視の視覚障がい者からの声

●大活字による資料提供を充実

させてほしいです。

●差出人（町田市等）がすぐにわかるデザインや、点字表示・市章などのエンボス（浮き出し）加工等による封筒のユニバーサルデザイン化を進めてほしいです。

トピックス

視覚障がい者に使いやすい 配慮をした身近な製品

シャンプーとリンスの区別ができるように、容器の横に小さな突起が付けてあります。視覚障がい者に限らず、さまざまな場面で使いやすい工夫がされています。



さいがいじ 災害時

災害発生時には、災害に関する情報を確実に伝え、お互いに助け合い、命を守ることが大事です。視覚障がい、聴覚障がいなどさまざまな障がいがある方を想定し、音声情報、文字情報など、さまざまな情報手段を組み合わせて、伝えていくことが必要になります。

町田市では、市内の「防災情報」をメール配信しています。ぜひ、ご登録ください。

町田市メール配信サービス
ご登録はこちら

